

山梨県ドローン活用推進計画 (改訂版)



令和7年9月

山 梨 県

目 次

第 1 章 計画改訂の背景と目的	．．．．	P1
第 2 章 ドローン活用の取り組み状況	．．．．	P1
1 国の情報		
2 本県における主な取り組み事例		
第 3 章 ドローン活用の推進に向けた基本方針	．．．．	P3
第 4 章 ドローン活用を推進する分野と期待できる効果	・	P3
第 5 章 各部局とドローン活用庁内検討会の役割	．．．	P4

第1章 計画改訂の背景と目的

近年、ドローン技術は急速に進展しており、空撮や測量、農林業支援、災害対応、物流など、様々な分野での利活用が拡大している。特に、少子高齢化や人口減少が進行する中、地域課題の解決や行政サービスの効率化・高度化を図る手段として、ドローンの導入と活用は一層重要性を増している。

国は平成29年に策定した「未来投資戦略2017」において、人口減少社会への対応を見据えた「移動革命の実現」を戦略分野として位置づけ、ドローンによる荷物配送の社会実装を含む新たなモビリティの創出を目指す方針を示した。これを契機に、ドローン技術の社会的受容や制度整備が進み、自治体レベルでも活用に向けた取り組みが加速している。

山梨県においても、こうした国の動向や技術革新の潮流を踏まえ、平成29年に「ドローン活用庁内検討会」を設置し、翌30年には「山梨県ドローン活用推進計画」を策定した。以来、予防活動や農林業分野をはじめ、スタートアップ企業との連携による山間部での物流改善や災害時の物資輸送など、地域の物流インフラ整備に取り組み、一定の成果と知見を蓄積してきた。

今後は、これまでの成果を基盤として、さらなる社会実装に向けた官民連携の深化、地域ニーズに即した活用分野の拡充、データ利活用の高度化など、ドローン技術を最大限に活用した戦略的な展開が求められる。

こうした中、現行の計画は策定から7年が経過しており、最新の技術動向や社会的状況が十分に反映されていない。そこで、現行計画を見直し、ドローン技術の利活用を通じた地域課題の解決や行政サービスの質的向上に向けた新たな指針として位置づけ、今後の取り組みを着実に推進していく。

第2章 ドローン活用の取り組み状況

1 国の情報

(1) 内閣官房 HP

① ドローン情報共有プラットフォーム

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/drone_platform/index.html

(2) 総務省 HP

① プラントにおけるドローン活用事例集

https://www.soumu.go.jp/main_content/000608704.pdf

(3) 文部科学省 HP

① 戦略的な施設マネジメント実践事例集2022（概要）

https://www.mext.go.jp/content/20230316-mxt_keikaku-000283481_00.pdf

(4) 厚生労働省 HP

① プラント設備等におけるドローンを活用した点検事例集

<https://www.mhlw.go.jp/content/11303000/000931254.pdf>

(5) 農林水産省 HP

① 令和 6 年度農業分野におけるドローンの活用状況

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/attach/pdf/drone-184.pdf>

② 造林のためのドローン活用事例集

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanbatu/houkokusho/attach/pdf/doron-2.pdf>

(6) 経済産業省 HP

① 次世代空モビリティ

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/airmobility.html

(7) 国土交通省 HP

① 国土交通省のドローン活用事例

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/gijyutu/content/001510876.pdf>

② 無人航空機総合窓口サイト

<https://www.mlit.go.jp/koku/info/>

2 本県における主な取り組み事例

(1) PR 活動

- ① 県のホームページ「水と太陽のレシピ」の PR 映像やリニア見学センターPV 映像の撮影
- ② 「県土やまなし未来づくり」公式インスタグラムなどに掲載するインフラの整備状況や効果の撮影
- ③ ドローンの実証実験などが可能なフィールドの提供を目的とした「やまなしデータプラットフォーム」への情報掲載

(2) 各種研究の推進・実用化検討

- ① 富士山登山の安全確保や植生モニタリングに関する研究
- ② 「リニアやまなしビジョン実証実験サポート事業」に採択されたドローン事業者の実証実験プロジェクトの支援

(3) 予防活動

- ① 夜間の巡回パトロールによる青木ヶ原樹海における自殺防止対策
- ② 水難救助における要救助者の搜索
- ③ カワウの追い払い
- ④ 高所点検での使用による事故の未然防止

(4) 災害情報収集・公共施設の維持管理

- ① 危険箇所や災害現場の状況把握
- ② 法面施設、堰堤、水路工作物、送配電線など、各種公共施設の点検や状況把握
- ③ 地震防災訓練、富士山火山防災訓練及び道路啓開訓練での活用

(5) 警備・捜索活動

- ① 条例違反の疑いがある施設の撮影による違反事実の確認
- ② 各種警戒活動

(6) 測量業務

- ① 埋蔵文化財調査における景観写真撮影及び遺構等の3次元測量
- ② 各種3次元測量業務の発注

(7) 農業・森林分野への活用

- ① 農業者が行う病害虫防除や追肥等に対する技術的支援
- ② レーザー計測技術を活用した森林資源の調査
- ③ シカ等の鳥獣の捕獲困難地域における試行捕獲などの鳥獣害対策
- ④ 生産者や経営体を対象とした国・県の補助金活用の支援

(8) 市町村等への支援

- ① 消防団への教育訓練（研修）

(9) 物資運搬

- ① 小菅村におけるフェースフリーな地域物流インフラの構築

第3章 ドローン活用の推進に向けた基本方針

住み慣れた地域で安心して暮らせる活力ある地域づくりを目指すため、様々な分野において積極的にドローンの活用を推進する。このための施策は中長期的視点も踏まえ、総合的かつ計画的に推進する。

第4章 ドローン活用を推進する分野と期待できる効果

次の施策についてドローンの活用を推進する。

なお、ドローン技術は、急速に進歩している状況にあることから、これ以外の分野や項目についても、引き続き、情報収集や課題等の整理に努め、民間事業者とも連携しながら、新たな事業展開を積極的に検討することとする。

(1) PR活動

豊かな観光資源の魅力を積極的に発信し、国内外からの誘客を促進

(2) 各種研究の推進・実用化

本県の地域性を踏まえた研究により、多様なニーズに対応

(3) 予防活動

早期発見や迅速対応が可能となり社会的・経済的な損失の軽減に寄与

- (4) 災害情報収集・公共施設の維持管理
全国各地で甚大な自然災害が発生している状況を踏まえ、地域の災害対応力を強化し県民の安全・安心を向上
- (5) 警備・搜索活動
事件事故を未然に防止するなど、県民・観光客の安全・安心を向上
- (6) 測量業務
生産性を向上させ、将来予想される労働力不足に対応
- (7) 農業・森林分野
個性豊かな地域産業の将来にわたる維持・発展に寄与するとともに、農業・森林分野における生産性を向上させ、食料及び木材の安定供給を確保
- (8) 市町村等への支援
市町村や各種団体等での活用を支援し、地域課題の解決や行政サービスの質的向上に寄与
- (9) 物資運搬
過疎地域・山間地域の物流インフラの整備により、配送時間の短縮やコスト削減、環境負荷の軽減等を促進するとともに、災害時の迅速な救援物資の運搬に寄与

第5章 計画の推進体制と進捗管理

- (1) 各部局は、引き続き所管分野における情報収集や課題の整理を行いPDCA サイクルを活用しながら、事業の企画・実施・評価を着実に進める。
また、それぞれの分野における現状やニーズを踏まえ、研究・実証実験・実用化等の取り組みについて、更なる展開の可能性を検討しドローン技術の利活用を推進する。
- (2) ドローン活用庁内検討会は、毎年度、各部局が収集した情報や検討結果、取り組みの成果等を確認・共有することで、庁内全体の知見の蓄積と連携強化を図り、ドローンを活用した事業の横断的かつ積極的な展開を推進する。
また、必要に応じて検討会を開催し、技術的・制度的な課題の整理や解決に向けた議論を行う。